

学友会会誌 Vol.41目次　－2021年12月発行－	執筆者(敬称略)	肩書
表紙写真		大阪大学最先端医療イノベーションセンター（外観）
シンポジウム『新型コロナウイルス感染症の現状』		
①基調講演：COVID-19を中心とした感染症全般	朝野和典	大阪健康安全基盤研究所　理事長
②感染制御（病院として）	忽那賢志	感染制御部　教授
③COVID-19をと地域医療対策	浅田留美子	大阪府健康医療部保険医療室　副理事
④コロナの救命医療	内山昭則	麻酔・集中治療学　准教授
⑤COVID-19の医学研究最前線	熊ノ郷淳	研究科長、呼吸器・免疫内科学　教授
生涯教育講座『阪大病院が取り組むAIホスピタル』		
①はじめに-なぜいまAIホスピタルなのか？	西田幸二	阪大病院　AI医療センター　センター長、眼科学　教授
②阪大病院が目指すAIホスピタル	土岐祐一郎	阪大病院　病院長、消化器外科学　教授
③医学へのAI応用：医療情報学の取り組み	松村泰志	国立病院機構大阪医療センター　院長、医療情報学　招聘教授
④AIホスピタル・リキッドバイオプシーの取り組み・期待	野々村祝夫	阪大病院　ゲノム医療センター　センター長、泌尿器科学　教授
⑤AIホスピタルに向けた看護領域の取り組みと期待	佃順子	阪大病院　副看護師長
⑥AIホスピタル・音声入力システムによる外来診療補助の取り組み	中川雄公、三木篤也	阪大病院　高度救命救急センター　講師/眼科（視覚先端医学寄附講座）　寄附講座准教授
⑦大阪大学におけるAIホスピタルと消化器外科領域における取り組みの現状と展望	三吉範克	消化器外科学　講師
⑧阪大病院AI医療センターにおける病院全体の業務支援に関わるプロジェクト支援-自動運転車いすサービスを題材とした人間中心のAI実証研究を例に-	川崎良	阪大病院　AI医療センター　副センター長、特任教授
⑨関節リウマチの診療支援AI	沖田康孝、平野亨、熊ノ郷淳	呼吸器・免疫内科学　特任助教/呼吸器・免疫内科学　招へい教授/研究科長、呼吸器・免疫内科学　教授
⑩AIシーズ研究・子宮頸がん健診へのAI診断の導入可能性	上田豊、木村正	産科学婦人科学　講師/産科学婦人科学　教授
⑪脳波を判読する人工知能の開発	貴島晴彦	脳神経外科学　教授
⑫AIシーズ研究・心不全ホームモニタリング	宮川繁、迫田実香、麻野井英次	心臓血管外科学　教授/心臓血管外科学　特任研究員（常勤）/医療法人社団藤聖会富山西総合病院　院長
特集『ワクチン特集』		
①はじめに　本特集の趣旨	宮坂昌之	大阪大学免疫学フロンティア研究センター　招へい教授
②COVID-19に対するmRNAワクチンの開発	日置仰、小檜山康司、石井健	東京大学医科学研究所　感染・免疫部門　大学院生/東京大学医科学研究所　感染・免疫部門　准教授/東京大学医科学研究所　感染・免疫部門　教授
③COVID-19に対するレコンビナントワクチン開発	本間誠之、形山和史	塩野義製薬株式会社　イノベーション医療研究所　アソシエートディレクター/塩野義製薬株式会社　イノベーション医療研究所・株式会社UMNファーマ　代表取締役社長
④COVID-19に対するDNAワクチンの開発	中神啓徳	阪大医　健康発達医学寄附講座　寄附講座教授
⑤新型コロナウイルスの人工合成法	鳥居志保、小野慎子、前田裕輔、松浦善治	大阪大学感染症総合教育研究拠点　大阪大学微生物病研究所　特任研究員（常勤）/大阪大学感染症総合教育研究拠点　大阪大学微生物病研究所　招へい准教授/大阪大学感染症総合教育研究拠点　大阪大学微生物病研究所　特任教授/大阪大学感染症総合教育研究拠点　大阪大学微生物病研究所　特任教授
⑥SARS-CoV-2に対する感染促進性抗体とCOVID-19ワクチン	荒瀬尚	阪大　免疫学フロンティア研究センター　免疫化学　教授
⑦新型コロナウイルスに対する抗体調査	古川皓一、森康子	神戸大　臨床ウイルス学　特命助教/神戸大　臨床ウイルス学　教授
⑧mRNA医薬品-感染症予防ワクチンの先にある可能性	内田智士	京都府立医大　医系化学　准教授
⑨ワクチン接種と接種後の「事象」について	多屋馨子	国立感染研感染症疫学センター　第三室　室長
⑩mRNAワクチンはなぜ高い有効性を示すのか-その疫学的理由	宮坂昌之	阪大　免疫学フロンティア研究センター　招へい教授
『地域医療に関する研究助成報告』		
①手関節骨折患者におけるビタミンDのあたえるインパクト-骨折重症度とビタミンDの関連について-	阿部真悟	市立豊中病院　整形外科　医員
②乳癌におけるSWI/SNFを介したMUC1のクロマチンリモデリング制御機能の解明	三代雅明	大阪医療センター　外科
③高齢維持血液透析患者におけるDual photon energy X-ray absorptiometry(DEXA)を用いた適正体重およびサルコペニア肥満の評価と予後	村津淳	住友病院　腎臓・高血圧内科　医員
『編集後記』	森井英一	会誌編集委員長・病態病理学　病理診断科　教授

※諸事情により、御執筆者に変更が生じる場合がございます。